

岡崎市図書館交流プラザ自主事業



OSAMU UCHIDA
JAZZ COLLECTION

ジャズの街 岡崎

瀬瀬歩美 with

Ayumi Koketsu with Yoshihiko Naya Trio Concert

納谷嘉彦トリオコンサート

新鋭サクソ奏者と素敵なリズム奏者によるジャズコンサート

～期間限定ユニットメンバーの共演～



2011. 5. 17 火

開演 19:00 / 開場 18:30

会場 ● 岡崎市図書館交流プラザ Libraホール

出演者 ● 瀬瀬歩美 with 納谷嘉彦トリオ 瀬瀬歩美(as)、納谷嘉彦(p)、俵山昌之(b)、マーク・テイラー(ds)

入場料 ● 一般 2,500円 / 中学生以下 2,000円(全席自由)

チケット発売開始 / 2011年3月26日(土)より

【チケット取扱場所】 岡崎市図書館交流プラザ2階総合案内 / TEL 0564-23-3100

電子チケットぴあ / TEL 0570-02-9999 【Pコード / 132-885】

※ぴあスポット、サークルK、サンクス、セブンイレブン各店でも購入できます。

※未就学児童の入場はご遠慮ください。

※公演内容が一部変更される場合がございます。あらかじめご了承ください。

※車椅子又は階段の歩行が困難な方は開場前にご来場いただき
スタッフにご相談ください。

主催 ● 岡崎市

お問合せ ● 岡崎市図書館交流プラザ 〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地 Tel.0564-23-3100 水曜日休館(祝日は除く) 9:00~21:00

libra

岡崎市図書館交流プラザ

<http://www.libra.okazaki.aichi.jp>



瀬瀬歩美 (as)

こうけつ あゆみ

岐阜県土岐市出身。地元ビッグバンドのトロンボーン奏者である父の影響で、幼少の頃からジャズ、ラテン、フュージョンに親しむ。3歳よりクラシック・ピアノを習い、中学の吹奏楽でアルト・サクソに転向。高校から本格的にジャズを始め、椿田薫氏に師事。このころからチャーリー・パーカーに傾倒するようになる。高校卒業後、甲陽音楽学院名古屋校コンテンポラリー・ミュージック専攻ジャズ・サクソ科入学。Randall Connors氏、岩持芳宏氏に師事。演奏と理論を学ぶ。在学中より、岐阜、名古屋を中心にライブ活動を始める。卒業して現在、リーダーバンド(as+p+bトリオ/as+gまたはp+b+dsカルテット)の他、f/納谷嘉彦(Pf)4を始め、様々なセッションに参加。2010年7月21日、ポニーキャニオン/M&IレーベルからCDデビュー。

HP <http://a-koketsu.6 ql.bz/>
 ブログ <http://ameblo.jp/as-ayumi/>



納谷嘉彦 (p)

なや よしひこ

作編曲家。能代高校卒業後、ネム音楽院(現ヤマハ音楽院)入学。78年、第一回日本ジャズグランプリに於いて最優秀ソロイスト賞を受賞し、納谷嘉彦3で名古屋を中心に活動。82年、BEBOP82(TBMLレコード)でメジャーデビュー。バイオリニストの寺井尚子と「プレザン・プレザン」を名古屋で結成。その後、五十嵐一生クインテット、大野俊三バンド、日野皓正5、宇崎竜童と共演。小林桂、大隅寿男、井上陽介らのアルバムに楽曲を提供し参加。瀬瀬歩美(As)のファースト・アルバム「STRUTTIN」及び2ndアルバム(M&I/PONYCANYON)にプロデューサー兼ピアニストと参加。現在、自己のグループ「納谷嘉彦SAMURAIビバップ3」などで活躍中。そして、NHK総合TV「祝女」の「MURMURLIVE」のコーナーでタレントのYOUちゃんのPIANIST役でアレンジに、演奏に活躍中。05年より名古屋音楽大学音楽科特別講師として、教育現場で後進の指導にも力を注いでいる。

オフィシャルホームページ携帯サイト
<http://www.naya-music.com/hptop.html>



俵山昌之 (b)

たわらやま まさゆき

1963年生まれ、東京都出身。中学生よりギター、高校生よりエレキベースを始める。19歳でウッドベースを始め、ライブハウス等で活動し始める。26歳の時、益田幹夫(p)トリオで初レコーディングし、その後多くのミュージシャンと共演する。主な共演者は、大野雄二、渡辺貞夫、日野皓正、山下洋輔、MALTA、TOKU、小林桂等。現在活動しているグループは、サムライビバップトリオ、Azoo、瀬瀬歩美カルテット、石井彰トリオ、緑川英徳カルテット、竹内直カルテット等。アンサンブルを重視し、力強く安定したビート、洗練されたベースラインは、共演者からも高く評価され信頼されている。2010年、「スイングジャーナル」誌ベース部門人気投票で7位に選出された。また、ベース教室(個人レッスン)も開催している。



マーク・テイラー (ds)

マークは5歳の頃からドラムを叩き始め、小学で演奏法を習得し、16歳からプロとして活躍し始める。マークの世界的著名なアーティスト達との幅広い演奏家経験の一部を紹介すると、アーネット・コブ、ジョージ・コールマン、エディー・ロックジョー・ディビスらとアメリカ、ヨーロッパ、中近東、日本など世界各国をツアーしている。今日までの参加アルバムは50枚以上に達しており、2001年にはブルーノートからのアルバム「ザ・モーニング・クロニクルズvol.1」がグラミー賞にノミネートされている。最近の活動では、1999年～2004年までモンティ・アレキサンダートリオ&カルテットとして活躍後、現在は主にルー・タバキントリオの欠かせないメンバーとして1982年より、2004年からは秋吉敏子トリオとしても活躍中である。マークのサイドマンとしての定評はいままでもないがリーダーとしてもまた活躍を期待されている。



岡崎市図書館交流プラザ

<http://www.libra.okazaki.aichi.jp>

お問合せ先

岡崎市図書館交流プラザ

〒444-0059 岡崎市康生通西4丁目71番地

TEL 0564-23-3100



古紙ハルパ配合再生紙使用